

年頭のごあいさつ



大治町長 小林

隆

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、さまざまな課題を抱えながらも着実に進むことができましたことは、皆様の深いご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

さて、早いもので、町長就任から3年目の年を迎えました。この間、「ふれあい対話・出前町長室」には、実に多くの皆様にご参加いただき、貴重なご意見を頂戴してまいりました。また、さまざまな地域行事へ参加させていただき、各種団体の皆様や町民の皆様との交流を通して、多くの期待をお寄せいただいておりますこと、大変ありがたく心強く感じております。改めて、町政執行の責任の重大さを痛感するとともに、町民の皆様が誇れるまちづくりのため、決意を新たにいたしましたところであります。

昨年は、かねてからの念願でありましたホームページのリニューアルを行いました。さらに本年秋には新しい町勢要覧の完成を目指しており、本町を多くの方々知っていただき、PRするための情報を積極的に発信し、皆様との交流の機会が増えるような取り組みを進めてまいりますのでぜひご活用いただくとともに、

に、皆様には引き続き町政にご関心をお持ちいただき、ご指導いただければ幸いに存じます。

昨今の社会経済構造は目まぐるしく変化し、町行政を取り巻く環境はより一層厳しい状況にあります。生活基盤整備の一環として、公共下水道事業については平成22年度の供用開始に向けさらなる取り組みを進めてまいります。また、安心して子どもを生育できることができる地域の実現のため、子ども医療制度について、平成21年4月から通院医療費の対象者を現行の小学校入学前から小学校卒業までに拡大してまいります。

地方分権社会の進展が叫ばれる中、あらゆる分野において自治体に課せられる責任が一層重くなり、その真価が問われています。今後はより自立した町政運営を行うため、皆様の力を原動力とし、安全で安心な暮らしを提供できるよう努めてまいります。

さまざまな課題は山積しておりますが、皆様との関わりを大切に、一歩一歩着実に解決に向け邁進していく所存であります。

最後になりましたが、この一年が町民の皆様にとって、ご繁栄とご多幸の年でありますよう心より祈念し、年頭のごあいさつといたします。

平成21年 元旦





愛知県知事

神田 真秋

あけましておめでとうございます。

昨年は、内外ともに動きの激しい一年でありましたが、県民の皆様方には、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。しかしながら、会計処理を巡る不適正事案や職員の不祥事により、県政に対する信用を大きく失墜させ、大変申し訳なく存じております。全庁一丸となって、綱紀粛正の徹底と制度や運用面での改善を図り、本年を信頼回復に向けた再出発の年にしてまいり所存であります。

さて、米国の金融危機に端を発する世界的な景気減速は、百年に一度の危機とも言われ、輸出型産業を中心とする本県の地域経済はその真っ只中におかれています。本県の財政も、企業業績の落ち込みなどにより、かつてないほど深刻な事態に陥ろうとしています。新しい年は、厳しい経済環境の中でスタートしますが、県民の皆様方の叡知を結集し、これ乗り越えていけるよう、全力を尽くしてまいります。

まず、県政の基本である、県民の皆様方の安心・安全の確保に向けて、着実に歩を進めていかなければなりません。少子化対策や誰もが安心できる健康・医療・福祉体制の充実に取り組むとともに、治安対策や交通安全、地震防災対策など安全で災害に強い地域づくりをしっかりと推進してまいります。

また、愛知の活力の源泉である産業を強化するため、モノづくり技術の共同研究開発の場となる「知の拠点」づくりや、航空宇宙産業などの次世代産業の育成、中小企業支援などを積極的に進めるほか、農林水産業の振興にも力を注いでまいります。

さらには、学校教育の充実や、あいちのモノづくりを支える人材の育成など、未来の愛知を担う人づくりを積極的に進めます。

加えて、愛知万博の理念と成果を継承するCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）や愛知から世界へ向けて新たな芸術を創造・発信するあいちトリエンナーレ2010などいよいよ来年に迫った主要プロジェクトの準備にも拍車をかけてまいります。

今年が、皆様方にとりまして、充実した一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

平成21年 元旦

